

## ◆ 冬期講習会が始まります

受験生にとってはもちろん、中1生・中2生にとっても冬期講習は欠かせないものです。学習内容は各学年の総復習です。何事も繰り返すことで身につくものです。スポーツも楽器の演奏も勉強も同じです▼中1生も中2生も来年2月の総合テストの結果で3月からのクラスを決めますので、これを当面の目標にしてもよいでしょう。また、中2生は来年4月から模擬テスト(私立高校によっては4月の結果から入試相談の資料となります)が控えています。この時期の勉強次第で結果が大きく左右されます。そこで講習会を受けるうえでの留意点を以下に挙げておきます。

**□生活習慣を整える** 成績が芳しくない人ほど生活習慣が乱れている傾向があります。体調がよくなければ、よいプレーもできません。規則正しい生活をしましょう。スマホやゲームに溺れると人生の可能性を失います。とくにスマホ(たんなる電話ではなくコンピュータです)を中学生がこんなに使うようになっている状況はここ数年のことです。科学技術の問題点が発覚するのはいつも犠牲者が出てからです。自分でコントロールできなくなっている人(おそらく依存症になっています)は家の人に管理してもらいましょう。いまの自分にとって、ほんとうに、そんなものが必要なのか、問い直しましょう。

**□予習で考える力をつける** 学習内容は学年の復習なので一度は勉強しているはずです。「この問題は20分でやろう」などと時間を決めて解くようにします。正解は出せなくても考えたあとは残すようにします。数学は図や途中式を書いておきます。国語の記述なら、字数が足りなくて不完全な形であれ、何かしら書くようにします。英語は長文があればそこからやります。分からない単語があっても前後関係で考えて読んでいきます。こういう練習は予習でしか出来ません。

**□復習をして身につける** 数学は間違えた問題をもう一度はじめから解いていきます。躓いたら授業のノート(つまず)をもう一度見て考えます。英語は暗記例文を発音しながら書いて覚えるだけでなく、授業で教師が強調した単語やフレーズをノートやカードに書き出して覚えるようにします。こういう暗記は生活の中の5~10分の「すきま時間」をうまく使います。短時間の勉強を何回も繰り返すのがコツです。



## ◆ 中3理科・社会全国都道府県過去問の勉強のしかた

期末テストが終わり、中学3年生にとってはラストスパートの時期になっています。内申点が確定し、あとは入試当日に実力を発揮するのみとなりました。内申点がよくても、あるいは、2学期の模試の偏差値がよくても、入試当日、点数がとれなければ当然のことながら不合格になります。逆にこれまでの成績が多少不利な状況でも入試当日、他の受験生を上回るような点数をとれば合格するのです。入試当日が勝負です。精一杯努力して後悔のない受験をしよう▼そこで、これからの勉強が大切になります。県立高校受験者にとって、これからの時期、いちばん点数を伸ばせる科目が理科・社会です。毎年この時期から理科・社会は47都道府県の過去問を解いていってもらいます。問題を解

- ☑ 携帯電話の電源は塾にきたら必ず切っておいてください。
- ☑ 12月総合テストの成績表は、今回の封筒に入っていますのでご確認ください。

いて答え合わせをして、知識が抜けているのであれば覚えていきます。ただ、その箇所を覚えるだけでなく、関連事項も確認していきます。たとえば、「浄土真宗を開いた人」として「親鸞」と答えられなかった場合、それだけを覚えて終わりにするのではなく、鎌倉時代の仏教をもう一度確認して覚え直します。資料の読み取りや計算問題で間違えた場合は、なぜ間違えたのか、考えます。解説を読んでも理解できないときは必ず質問するようにしてください。こういう勉強で47都道府県の過去問をすべてやり遂げた先輩たちは全員合格しています。過去(内申点や2学期の偏差値)は変えられませんが、未来(入試結果)はいまの生き方しだいで変えられます。



## その蔵めるこの一冊

下山征広

今回はノーベル文学賞候補にもなった三島由紀夫と格闘家・青木真也というかなり傾向が異なった二人の本を紹介します。

### 『命売ります』 三島由紀夫(ちくま文庫)

東大法科をへて、大蔵省に入るも、まもなく退職。「仮面の告白」により文壇での地位を確立します。Esquire 誌の「世界の百人」に選ばれた初の日本人でもあります。晩年は政治的傾向を強め、民兵組織「楯の会」を結成。1970年、45歳の時、自衛隊市谷駐屯地においてクーデターを促す演説のあと、バルコニーで割腹自殺を遂げました▼そんな三島由紀夫が週刊プレイボーイに連載したエンターテインメント小説が本作です。読みやすいかと思いきや、なかなかそうは問屋がおろしませんが、同じくノーベル文学賞候補になっている村上春樹にも一脈通じるものがあり、お薦めです。



もっとはやく教えてほしかった……  
隠れた小怪作小説  
想像力は数十倍オマケ! 発見!

読者の10人ほどが「あざむいた」喉を三島由紀夫の極上エンターテインメント小説、イマジニを震わせる読みやすさでラスト10頁、衝撃的どんでん返しまで一気読み、その面白さをみんな読んで三島を読まざるべからず!!

© ちくま文庫

### 『空気を読んではいけない』青木真也(幻冬舎)



早大卒。元警察官。才能にもけっして恵まれていたとは言えない筆者がいかにして総合格闘技の世界チャンピオンまで上り詰め、ファイトマネーもアジア最高額まで達したのか。その成功の秘訣を説いた本です。こちらはとても読みやすく、また、おもしろかったので、一晩で一気に読んでしまいました。本文から一部引用します。

——なぜ、運も才能も持たざるものだった僕がトップの格闘家でいられるのか、自分なりに幸せに生きられるのか。この本では、その理由をひとつひとつ書いていく。きっとどんな仕事をしている人にとっても何かを成し遂げるうえでのヒントになると思う。

最初に、簡単に言ってしまうと「徹底的に空気を読まない」ということになる。周りから見たら、イタいこと、異常なこと、理解できないようなことでも、自分がやりたいようにやる。凡人が空気を読んではしまったら。本当に「空気」になってしまう。「空気」は果たして幸せだろうか? 何かを達成できるだろうか? ——

※ここで紹介された本は萌学舎文庫(自習室の本棚。2週間貸出)にあります。

#### ◆ 行事予定

- 12/21 2学期最終
- 12/22 休講(事務営業日 12時半～19時。自習室は使用できます)
- 12/23,24 入試特別講座(受験学年)
- 12/26～1/7 冬期講習会(12/31～1/2は休講)
- 1/9 入試直前講座
- 1/10 3学期開始
- 1/29 第8回中3北辰テスト(12/23～30までに受験料4600円を持ってきてください。県立第1志望の生徒は必ず受験してください)

【編集/加藤】